

学校園における内科健康診断について

新緑の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育進展のためにご理解・ご支援を頂きありがとうございます。

さて、学校園における内科健康診断は、学校生活を送るに当たり病気が潜んでいないか確認するため、これまでから上半身脱衣での受診を基本とするとともに、プライバシーの保護や心情への配慮のための工夫等も行いながら実施してまいりました。

今年度につきましても、安心して検診を受けることができるよう、引き続き配慮を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、家庭訪問等でいくつかご質問や、個別に配慮のご相談をお伺いしているケースがあります。お手数ではありますが、個別に配慮が必要な場合は、きりとり部分を 5月18日(木)までに担任までご提出ください。

1 上半身脱衣で行う理由

- ① 聴診は聴診器を皮膚に直接あてて行いますが、衣服や下着の上からでは、皮膚と衣服等がこすれる音の影響や、心音を聴くポイントに聴診器を当てられず、先天性心疾患や弁膜症等で聴かれる心雑音や喘息などの呼吸音を十分に聴診できず、呼吸器系の病気を見逃してしまう可能性があります。
- ② 視診では、皮膚(アトピー性皮膚炎、皮膚腫瘍)や甲状腺の病気(バセドウ病、甲状腺腫)、骨格の変形(脊柱側弯症、頸椎後弯、胸郭変形など)の有無も診ています。特に脊柱検査は必須の検査項目で、衣服の上からの診察は不正確になります。
- ③ 思春期早発症(ホルモンの関係等で通常より早く思春期が始まる病気)の早期発見にも、上半身脱衣での視診が有効です。

2 プライバシーの保護や心情面への配慮について

本校では、児童・生徒のプライバシーへの配慮として、

- ① 性別等を考慮し、別々に検診を行う。
- ② 脱衣の際や診察時には、周囲から見えないよう、衝立やカーテン等により個別のスペースを確保する。
*3つのブース設置を設置します。
- ③ 聴診・視診の直前まで、体操服の袖を抜いた状態で、胸部を隠すなど、不必要な露出を避ける。など、性別を問わずきめ細かい対応を行って実施します。
引き続き、児童・生徒たちの心情面にも配慮し、聴診・視診時に胸部を隠す工夫等を行いながら、対応してまいります。

- ・ 前面の聴診を行う際は、スポーツブラやキャミソール等を脱ぎ、上から体操服を着て、袖を抜いて胸部を隠した状態で聴診器を差し込み行います。
- ・ 脊柱検査については、背骨や肩甲骨が見える状態で視診する必要がありますので、スポーツブラやキャミソール等、背面が隠れる面積の多い下着等の着用は避けて下さい。背面の検査は、体操服を首にかけたまま、脊柱検査・聴診を行います。

きりとり

学校園における内科健康診断について 個別に配慮を希望します。

年 組 番 名前